

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立来待小学校

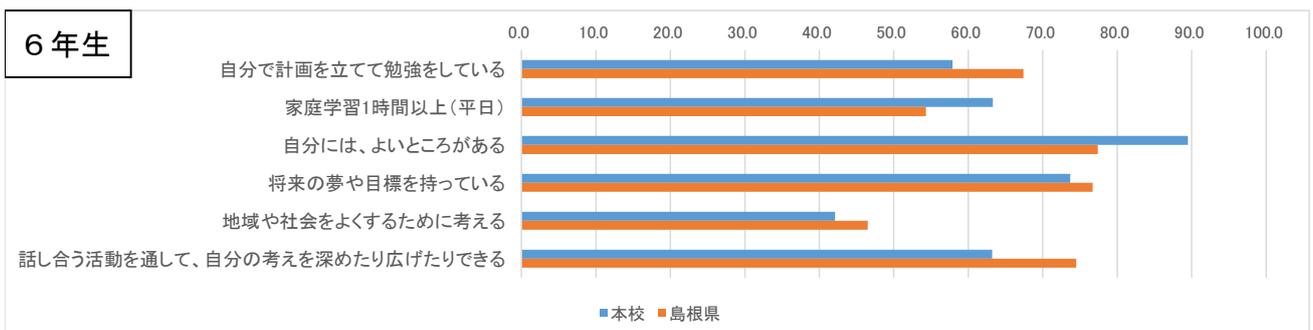
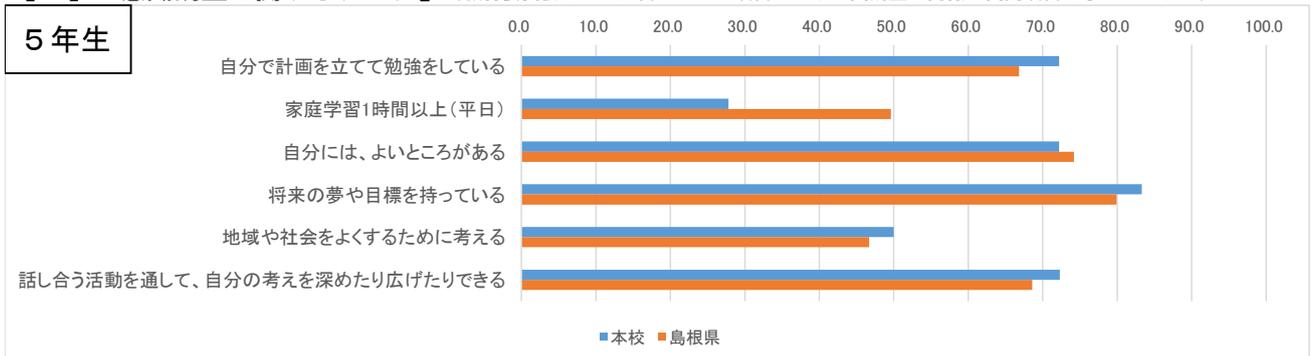
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	<p>○表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり、情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡潔に書いたりすることができる児童の割合が県平均を上回っている。</p> <p>○条件に合わせ、資料から読み取った事実や自分の意見を書くことができる児童の割合が県平均を大きく上回っている。</p> <p>●物語を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができにくい。</p> <p>●説明文を読んで文章全体の構成を捉えることができにくい。</p>	<p>○漢字を正しく読んでいる児童の割合が県平均を上回っている。</p> <p>●熟語の成り立ち、原因と結果など情報と情報との関係、敬語などの言葉を正しく理解し使うことができにくい。</p> <p>●物語の登場人物の心情や様子を描写をもとに捉えたり、目的に応じて説明文の情報を整理することができにくい。</p>
算数	<p>○体積を求める式を理解し、立方体や、直方体を組み合わせた形の体積を求めることができる児童の割合が県平均を大きく上回っている。</p> <p>○単位量当たりの大きさや比例の考え方を理解している児童の割合が県平均を上回っている。</p> <p>●小数のかけ算・わり算の計算のしかたが十分に身に付いていない児童が多く、それを活用して問題を解決することができにくい。</p> <p>●多角形の角の大きさの和について十分に理解できていない児童が多い。</p>	<p>○文字を使って、2つの数量関係を1つの式に表すことができる児童の割合が県平均をやや上回っている。</p> <p>○真分数÷整数(約分1回)の計算ができる児童の割合が県平均を大きく上回っている。</p> <p>●面積や体積の求め方の理解が十分でなく、それらを活用して面積や体積を求めることができにくい。</p> <p>●問題場面を理解し、数量の関係を図に表したり、文字を使った式が表す場面を選んだりすることができにくい。</p>

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	<p>○「自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が高い。</p> <p>○「将来の夢や目標を持っている」「地域や社会をよくするために考える」など、自分や地域の将来について考える児童の割合が高い。</p> <p>●平日の家庭学習の時間が1時間以上と回答した割合が県平均を大きく下回っている。</p>	<p>○平日の家庭学習の時間が1時間以上と回答した割合が高い。</p> <p>○「自分には、よいところがある」と回答した児童の割合が県平均を大きく上回っている。</p> <p>●自分で計画を立てて勉強するなど、自主的に学習に取り組もうとする児童が少ない。</p> <p>●「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできる」と回答した児童の割合が低い。</p>

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】

5年生 18 名

6年生 19 名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)